

7 「改革続行」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「改革続行」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	1	持続可能な財政の運営	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 将来にわたって質の高い県民サービスを提供していくためには、健全で持続可能な財政運営を確保していく必要があります。 このため将来の県民負担となる県債等残高の計画的な削減を図るとともに、税金など自主財源の確保に取り組みます。 また、既存事業の改廃やコスト削減など見直しを行うとともに、公共事業等については、費用対効果を吟味し、県民ニーズの高い事業から優先的に実施します。</p>					
平成25年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 県債等残高の削減		P.124	総務部	
	○ 公共事業、県単独公共事業の段階的縮減		P.124	総務部	
	○ 県単独補助金の見直し		P.124	総務部	
	○ 公共土木施設の長寿命化の推進		P.125	県土整備部	
	○ 公共事業コスト構造改善の推進		P.126	県土整備部	
	○ 税金確保対策の実施		P.126	総務部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		3,570 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		3,046 百万円		
	前年度までの事業費		1,880 百万円		
	本年度の事業費		1,166 百万円		
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	県債等残高の削減（臨時財政対策債等を除く）	8,050 億円 (H22)	7,450 億円 (H26)	7,383 億円 (H25)	111.2
	橋りょうの耐震補強等の長寿命化（行動計画期間中の累計）	—	560 橋 (H26)	505 橋 (H25)	90.2
	県税徴収率	95.4% (H22)	96.1% (H26)	96.8% (H25)	200.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 県債等残高の削減 【財 政 課】	———	<p>将来の県民負担を軽減し、持続可能な財政運営を確保していくため、実質的な地方交付税である臨時財政対策債等を除く県債に出資法人に対する債務保証等を含めた県全体の県債等残高を計画的に削減した。</p> <p>これにより、平成 25 年度末の県債等残高は 7,383 億円となり、目標を 1 年前倒しで達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県債等残高の削減（見込み） <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度末：8,050 億円→ 平成 26 年度末：7,173 億円 削減額： 877 億円
2 公共事業、県単独公共事業の段階的縮減 【財 政 課】	———	<p>県債等残高の削減を進めるため、公共事業費及び県単独公共事業費に縮減目標（県負担額年 5 %縮減）を設定した。</p> <p>これにより、平成 26 年度当初予算（中部横断自動車道整備に係る直轄事業負担金の一部を除く）は、平成 25 年度当初予算と比較して、県負担額を 5 %縮減した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度当初予算県負担額 <ul style="list-style-type: none"> 33,979 百万円（△ 5 %） 平成 25 年度当初予算県負担額 <ul style="list-style-type: none"> 35,768 百万円
3 県単独補助金の見直し 【財 政 課】	———	<p>社会情勢の変化や目的の達成状況、役割分担の明確化、全国水準との比較などの観点から県単独補助金の不断の見直しを行った。</p> <p>これにより、平成 26 年度当初予算編成において、前年度比で 30 件（削減額 337 百万円）の見直しを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金の見直し <ul style="list-style-type: none"> 廃 止 15 件（削減額 179 百万円） 縮 減 10 件（削減額 155 百万円） その他 5 件（削減額 3 百万円）

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 社会資本整備 重点計画の見直し 【県土整備総務課】	—————	<p>社会資本整備において、限られた財源をより効果的、効率的に活用するため、重点的に整備すべき社会資本の方向性を示した山梨県社会資本整備重点計画を平成23年度に見直した。</p> <p>この重点計画の推進により、限られた財源の中でも効率的、効果的な社会資本整備を進めた。</p>
5 公共土木施設の 長寿命化の 推進 【道路管理課】 【治水課】 【下水道室】	<p>道路維持費 (107,190) 89,815 [17,375]</p> <p>道路橋りょう建設費 (1,238,858) 942,187 [296,671]</p> <p>河川改良費 (92,053) 39,202 [52,851]</p> <p>流域下水道建設費 (流域下水道事業特別会計) (51,118) 51,118</p>	<p>公共土木施設の維持管理費や更新費のトータルコストを縮減するため、橋りょう、河川管理施設などの長寿命化計画の策定及び既存施設の計画的な補修を行った。</p> <p>これにより、効率的な維持管理を行うための準備が進み、一部の公共土木施設において長寿命化対策に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょうの耐震補強、補修 山梨笛吹線竹原田橋など 187 橋 ・河川管理施設の長寿命化計画の策定 五明川伏越、間門川樋管、東花輪川樋管の 3 箇所 ・流域下水道処理場施設の長寿命化計画の策定 3 箇所 ・富士北麓流域下水道足和田、河口湖第一、第二ポンプ場の長寿命化計画の策定 3 箇所 ・釜無川流域下水道韮崎第一、双葉、敷島ポンプ場の長寿命化計画の策定 3 箇所

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 公共事業等評価の実施 【治山林道課】 【耕地課】 【県土整備総務課】	一般管理費 (2,477) 1,136	<p>公共事業、県単独公共事業について、事業実施の是非、継続の是非、改善措置等を決定するため、事業の各段階(予算計上前、事業着手後、事業完了後)において、妥当性・優先度、進捗状況、貢献度等を評価した。</p> <p>これにより、公共事業評価に対する客観性、透明性の確保及び効果的、効率的な事業の実施に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山梨県公共事業評価委員会の開催 5回 意見書の提出 平成 25 年 11 月 <p>評価対象事業</p> <p>事前評価対象事業 9 事業 (総事業費 10 億円以上の新規事業)</p> <p>再評価対象事業 10 事業 (事業着手後 5 年又は 10 年以上経過し、継続中の事業等)</p> <p>事後評価対象事業 12 事業 (総事業費 10 億円以上の事業で事業完了後 5 年経過した事業等)</p>
7 公共事業コスト構造改善の推進 【技術管理課】	———	<p>山梨県公共事業コスト構造改善プログラムの施策を継続して、これまでの取り組みの更なる浸透・定着を図ることとし、公共事業の効率的、効果的な推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> H19 年度を基準に総合コストの 15.1%縮減
8 税収確保対策の実施 【税 務 課】	賦課徴収費 (42,414) 39,414	<p>税収確保のため、市町村と連携した個人県民税の徴収強化や、厳正な滞納処分などにより、県税の徴収率向上を図った。</p> <p>これにより、平成 25 年度の徴収率は 96.8%と前年度を 0.5 ポイント上回り、税収の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方税滞納整理推進機構を中心とした個人住民税の徴収対策の推進 滞納整理額 7.5 億円 (H24：19.9 億円) 個人県民税の徴収率 92.5% (H24：91.6%) 個人県民税の滞納繰越額 18.7 億円 (H24：21.6 億円) 県税事務所の徴収対策の推進 個人県民税を除く滞納繰越額 5.2 億円 (H24：6.6 億円) 差押件数 2,016 件 (H24：2,492 件)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>9 貸付金・使用料等の滞納債権処理の徹底</p> <p>【出：会計課】</p>	<p>会計管理費 (10) 10</p>	<p>歳入確保のため、債権管理担当職員のスキルアップや意識の向上を図り、貸付金・使用料等の滞納債権の管理と回収の徹底に取り組んだ。</p> <p>これにより、一般会計における貸付金について収入未済額の減少に寄与した。また、回収不能な債権について債権が消滅したと判断できる基準を明示し、不納欠損処分を行い滞納債権管理の徹底を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・債権管理担当者を対象に債権回収及び処理に関する研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年 6 月、出席者 41 人 平成 25 年 11 月、出席者 39 人 ・債権管理・回収支援グループによる支援、助言 ・基準を適用した債権について権利の放棄及び不納欠損処分 1 件 457 千円
<p>10 未利用県有地の売却処分・有効活用の推進</p> <p>【管財課】</p>	<p>財産管理費 (8,350) 3,201</p>	<p>県有財産の有効活用のため、未利用地について、売却処分を実施するとともに、貸付けを推進した。</p> <p>これにより、未利用地 2 件を売却するとともに、一時貸付けでは、目標を上回る 17 件の貸付けを行い、歳入の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の売却 <ul style="list-style-type: none"> 一般競争入札（平成 25 年 6 月、12 月実施） <ul style="list-style-type: none"> 物件数 3 件、売却件数 1 件 売却金額 170,000 千円 随意契約 <ul style="list-style-type: none"> 売却件数 1 件 売却金額 5,988 千円 ・事業用定期借地権等による貸付け <ul style="list-style-type: none"> 貸付対象物件 2 箇所、貸付件数 1 件 (民法 601 条による。) 貸付金額 3,500 千円/年（20 年間） ・未利用地の一時貸付け等 <ul style="list-style-type: none"> 一時貸付けの実施 <ul style="list-style-type: none"> 貸付対象物件 4 箇所、貸付件数 17 件 貸付金額 1,164 千円

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
11 ネーミングライツの拡大 【行政改革推進課】	—————	<p>新たな自主財源を確保するため、施設の性格や企業にとってのメリットの有無などを勘案する中で、ネーミングライツの対象となる施設の拡大を図った。</p> <p>これにより、対象施設は4施設に増加し、歳入の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象施設 1施設増 (山日YBS球場) 契約期間 平成26年3月から5年間 ネーミングライツ料 年額700万円(消費税別途)
12 ふるさと納税制度の普及・啓発 【知事政策局】	企画総務費 (121) 38	<p>本県へのふるさと納税の促進を図るため、制度の積極的なPRを行った。平成25年度は、富士山世界文化遺産登録を契機に啓発活動を強化するとともに、2月の豪雪による農業被害の復旧への支援を広く呼びかけた。</p> <p>これにより、平成25年度は、401件、2,233万1,900円のふるさと納税をお寄せいただいた。 (うち、豪雪による農業被害の復旧に係る寄附は188件、842万3,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページによる情報発信 県ホームページ「ふるさと応援サイト」などによる情報発信 県外イベント等での啓発活動の実施 県外イベントでの啓発活動の実施 5回 県外関連施設、県内観光施設などでのパンフレット配布 42施設 山梨県人会連合会との連携強化 県人会連合会内に設置された「ふるさと納税推進委員会」との連携強化による寄附の掘り起こし等の実施

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「改革続行」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	2	効果的・効率的な行政運営	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 高度化・多様化する行政ニーズに迅速かつ的確に対応していくため、簡素で効率的な組織づくりを行っていくとともに、人材の効果的・効率的配置など組織力を高める人事管理や成果を重視した行政運営を進めます。 また、出資法人については、経営健全化プランに基づき、存廃も含めた必要性の検討や経営評価を実施するとともに、公益法人制度改革に対応した見直しを実施するなど、抜本的な改革を推進します。</p>					
平成 25 年度 の 主 な 取 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 施策を着実に推進する組織の構築		P.130	知事政策局・総務部	
	○ 職員数の適正な管理		P.130	総 務 部	
	○ チャレンジミッションの公表		P.130	知 事 政 策 局	
	○ 組織力を高める人事管理の推進		P.131	総 務 部	
	○ 行政評価による事務事業の見直し		P.131	知 事 政 策 局	
	○ 出資法人の抜本的改革の推進		P.131	企 画 県 民 部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		12百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		8百万円		
	前年度までの事業費		6百万円		
	本年度の事業費		2百万円		
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	事業評価による平均見直し率	36.4% (H22)	50.0% (H26)	60.4% (H25)	176.5
	出資法人経営計画改定法人数（行動計画期間中の累計）	—	27法人 (H26)	21法人 (H25)	77.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 施策を着実に 推進する組織 の構築 【行政改革推進課】 【人 事 課】	———	施策・事業の着実かつ効果的推進のため、簡素で効率的な組織づくりを基本として組織の見直し検討を行い、再編を実施した。 これにより、富士山保全や産業振興施策の推進体制の整備を図るなどし、諸施策の効果的・効率的推進に寄与した。 ・施策推進のための組織整備 富士山保全推進課の設置、産業労働部の組織再編など ・簡素で効率的な組織の構築 下水道課の業務を見直し、都市計画課内に下水道室として設置 など
2 教育庁組織の 再編、教育機 関等業務の合 理化 【教：総務課】	———	教育庁組織の再編及び教育機関等の業務の合理化について検討し、教育指導体制の見直しや業務の合理化等について課題整理を進めた。 ・教育庁組織の再編 ・教育機関等の業務の合理化
3 職員数の適正 な管理 【人 事 課】	———	県民サービスを十分に確保しつつ、人件費を抑制し、職員数の適正な管理を行った。 これにより、効率的な行政運営が図られた。 ・退職補充及び欠員補充を原則とし、定員適正化計画の最終計画値（13,498人）を上回らないよう平成26年度の採用予定数を調整 ・一部の職種については、退職不補充を徹底
4 チャレンジミ ヂションの公表 【知事政策局】	———	年度当初に各部局長等が知事に示し決定した重点的に取り組むべき項目と、その項目に係る達成目標及び施策・事業を、チャレンジミッションとして公表した。 これにより、県の目指している方向性や県が置かれている状況について、県民理解の推進に寄与した。 ・重点項目、達成目標及び施策・事業の選定・公表 平成25年4月 ・実施状況の公表 平成26年3月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 次代を担う人材の育成 【人事課】	人事管理費 (247) 101	<p>次代を担う人材を育成するため、県民ニーズに的確に応えられる人材の育成、年齢別研修、各種能力開発研修、自己啓発支援などを行った。</p> <p>これにより、職員の高度な政策形成能力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己啓発支援 研修情報の提供、図書の貸出、研修所の開放、ビデオ教材の貸出
6 組織力を高める人事管理の推進 【人事課】	人事管理費 (2,761) 2,191	<p>職員の能力、実績、努力等を的確に把握し適正に評価するため、管理職人事評価制度の充実、制度改善を図るとともに、一般職員への本格導入に向けた検討を進めた。</p> <p>また、人材の効率的な活用により組織力の向上を図るため、本庁と出先機関の人事交流を積極的に推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度における評価者研修の実施 部長級、部次長級職員等の本庁と出先機関との交流配置 平成 26 年 3 月
7 行政評価による事務事業の見直し 【行政改革推進課】	—	<p>成果を重視した行政運営や限られた財源を有効活用するため、行政評価アドバイザーによる外部評価や一般行政事業を対象とした内部評価を実施した。</p> <p>これにより、平成 25 年度は 95 の事業について見直しを行い、事務事業の改善に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部評価の実施 18 事業 内部評価の実施 131 事業
8 出資法人の抜本的改革の推進 【企画課】	企画総務費 (305) 305	<p>県の財政負担の大きい 5 法人について、国のガイドラインに基づき経営改革プランを策定した。</p> <p>これにより、出資法人の抜本的改革に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改革プラン策定済法人 土地開発公社・住宅供給公社・農業振興公社・林業公社・環境整備事業団 改革プランの実施状況を検証

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>9 出資法人の経営健全化の推進</p> <p>【企画課】</p>	<p>—————</p>	<p>出資法人の健全経営のため、出資法人経営健全化プランに基づいた経営評価を継続実施するなど、出資法人全体の改革を推進するとともに、同プランの改定を行った。</p> <p>これにより、出資法人全体の経営健全化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営健全化プランの改定 平成 24 年 3 月 ・経営評価の実施 実施結果の公表 平成 26 年 3 月
<p>10 出資法人の公益法人制度改革への対応</p> <p>【企画課】</p>	<p>—————</p>	<p>公益法人制度改革へ対応するため、平成 25 年 11 月の移行期限までに、県が出資する財団法人・社団法人の公益法人等への移行に向け、指導を行った。</p> <p>これにより、出資法人の着実な公益法人への移行に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益法人等への移行等 移行済み法人 28 法人中 28 法人 (廃止 2 法人)

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「改革続行」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	3	県民サービスの向上	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 県民主体の県政を推進していくため、広聴広報機能の強化により、県民の声を広く県政に反映させるとともに、情報公開の徹底により県政の一層の透明化を図ります。 また、県民の利便性を向上させるため、行政サービスのオンライン・ワンストップ化を推進するとともに、民間活力の導入により、コスト削減やサービス向上を図ります。</p>					
平成25年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 広聴広報機能の強化		P.134	知事政策局	
	○ 県政ひざづめ談議の開催		P.134	知事政策局	
	○ 地方三公社への情報公開条例の対象拡大		P.134	総務部	
	○ 行政文書クイック提供サービスの実施		P.135	総務部	
	○ 入札契約情報の提供の充実		P.135	総務部	
	○ 電子県庁の推進		P.135	企画県民部	
	○ 公共施設の外部評価の実施		P.136	知事政策局	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			1,500 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			928 百万円	
	前年度までの事業費			628 百万円	
	本年度の事業費			300 百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	公共工事以外の入札結果のホームページ上での公開割合	10.9% (H22)	100.0% (H26)	50.7% (H25)	44.7
	電子申請可能な行政手続数	150 件 (H22)	200 件 (H26)	177 件 (H25)	54.0
	指定管理者施設利用者の満足度80%以上の施設数	24 施設 (H21)	30 施設 (H26)	35 施設 (H25)	183.3

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 広聴広報機能の強化</p> <p>【広聴広報課】</p>	<p>広 報 費 (271,311) 265,112</p> <p>諸 費 (7,379) 7,327</p>	<p>県民の声を広く県政に反映するとともに、ホームページや広報誌等の機能強化、メディアミックスの推進、東京事務所に設置した広報官などを活用し、県内外に向けた県政情報の発信力を高めた。</p> <p>これにより、県民参加の県政の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県広報戦略の改定 平成 26 年 3 月 ・県広報誌（紙）「ふれあい」のリニューアルに向けた企画コンペを実施 ・県ホームページの機能強化
<p>2 県政クイックアンサー制度の推進</p> <p>【広聴広報課】</p>	<p>広 報 費 (303) 279</p>	<p>県政への意見や要望に対して 1 週間以内に回答する「県政クイックアンサー制度」を実施した。</p> <p>これにより、県民ニーズに迅速に対応するスピーディーな県政の実現に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県政クイックアンサー制度 受付件数 381 件 平均回答日数 3.5 開庁日
<p>3 県政ひざづめ談議の開催</p> <p>【広聴広報課】</p>	<p>広 報 費 (902) 680</p>	<p>県民参加の県政を推進するため、県民と知事が直接、県の現状や将来、県の諸施策などについて、普段着の対話を行う県政ひざづめ談議を開催した。</p> <p>これにより、観光振興や子育て支援等の意見を施策に反映した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県政ひざづめ談議の開催 20 回 参加者 249 人 テーマ 産業振興、観光振興、農林業の振興、地域活性化、子育て支援、環境対策など
<p>4 地方三公社への情報公開条例の対象拡大</p> <p>【私学文書課】</p>	<p>—————</p>	<p>情報公開制度の充実を図るため、県が設立した三公社（土地開発公社、住宅供給公社、道路公社）に情報公開条例の対象を拡大した。</p> <p>これにより、平成 24 年 4 月から、地方三公社に対するインターネットを利用した情報公開の申請、及び開示決定等に不服がある場合の異議申立てが可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方三公社における開示請求実績 6 件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 即日文書提供 制度（仮称） の実施 【私学文書課】	—————	<p>透明度の高い開かれた県政運営を図るため、不開示情報が含まれていない行政文書の写しの交付等を迅速に行う「行政文書クイック提供サービス」を実施した。</p> <p>これにより、開示請求によらず簡易な手続での閲覧及び写しの交付が可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「行政文書クイック提供サービス」利用実績 約 1,100 件
6 入札契約情報の 提供の充実 【私学文書課】	—————	<p>入札契約情報の一層の透明化を図るため、平成 24 年 4 月分から本庁及び出先機関の物品購入に加え、本庁における委託等に係る入札結果及び単独随意契約理由・結果を公表した。</p> <p>これにより、入札契約情報の公表範囲が拡大された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本庁及び出先機関の物品購入等に係る入札契約情報のホームページ等による公表 447 件
7 外部委託の推 進 【行政改革推進課】	—————	<p>より効率的で質の高い県民サービスを提供するため、障害福祉従事者等を対象に実施する研修事業を外部委託した。</p> <p>これにより、民間団体が有する専門的知識や経験を生かした質の高い研修を実施することができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部委託した事業 障害児（者）福祉人材育成事業
8 電子県庁の推 進 【情報政策課】	情報管理費 (30,210) 26,684	<p>県民が自宅や職場のパソコンからインターネットを利用して申請、届出などの行政手続が行えるよう、市町村と連携を図りながら電子化を推進した。</p> <p>これにより、県民の利便性の向上と行政運営の効率化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子申請受付共同業務の拡大 電子申請受付共同システム関係会議の開催 9 回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 公共施設の外部評価の実施 【知事政策局】	—————	<p>公共施設の運営の効率化や質の高い県民サービスの提供を図るため、外部評価による施設のあり方の検討を行うとともに指定管理者制度の拡大に取り組んだ。</p> <p>これにより、効率的・効果的な施設運営の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の実施 2施設 宝石美術専門学校、なかとみ青少年自然の里 ・指定管理者制度導入施設の拡大 新規導入1施設 育精福祉センター（成人） ・施設のあり方の検討 廃止4施設 総合福祉センターかえで荘、緑化センター、釜無川スポーツ公園（一部）、県民会館
10 丘の公園のあり方の検討 【企：総務課】	—————	<p>平成24年度に策定した地域振興事業（丘の公園）の経営改善方針（指定管理者制度の適正な運用、収益的収支の黒字化、借入金の計画的な償還）により、丘の公園の経営改善を進めた。</p> <p>平成25年度においては、次期指定期間における丘の公園の指定管理者を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定期間 5年間
11 清里の森の管理運営方法の検討 【県有林課】	—————	<p>清里の森別荘地の利用者サービスを高めるとともに、センター施設への集客促進を図るため、新たな管理運営方針（H24策定）を踏まえ、清里の森再整備基本計画を策定した。</p> <p>これにより、清里の森の魅力向上に向けたサービスの提供や施設の再整備を進めていく。</p>

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「改革続行」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	4	地域の自主性・自立性を高める改革の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	5	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るためには、地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることができる仕組みづくりが必要です。 このため、行政の各分野における国・県・市町村の適切な役割分担や近隣都県との広域的な連携のほか、民間との協働も踏まえながら、地域の自主性や自立性を高める取り組みを推進します。</p>					
平成25年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地方分権の推進		P.138	知事政策局	
	○ 国の施策・予算に対する提案・要望の実施		P.138	知事政策局	
	○ 県から市町村への権限移譲		P.138	総務部	
	○ NPO等との協働の推進		P.139	企画県民部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			840百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			493百万円	
	前年度までの事業費			371百万円	
	本年度の事業費			122百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	県とNPO等による協働事業実施数	90事業 (H22)	130事業 (H26)	122事業 (H25)	80.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 地方分権の推進 【知事政策局】	———	地域の自主性や自立性を高める地方分権を進めるため、全国知事会における論議や調査・検討等に参画し、国に対して積極的に提言した。 ・全国知事会への参画 9回 ・国への提言 8回
2 国の施策・予算に対する提案・要望の実施 【知事政策局】	企画総務費 (868) 185	本県独自の実効性ある施策・事業を実施するため、地域の実情に即した各種制度の創設などについて、国に対して提案・要望した。 これにより、リニア中央新幹線の早期実現のための所要額が確保されるなど、本県の円滑な行財政運営に寄与した。 ・提案要望活動の実施 2回 提案要望件数 20件(新規・一部新規 15件、継続 5件)
3 県から市町村への権限移譲 【市町村課】	市町村振興費 (90,502) 90,502	市町村が中心となって自立性の高い特色ある地域社会を形成していくため、国の制度改正も踏まえながら、市町村への権限移譲を推進した。 これにより、地域の自主性や自立性の向上に寄与した。 ・法律に基づく市町村への円滑な移譲 ・条例に基づく移譲受入れ市町村の拡大 23事務・団体 ・新たな移譲事務の検討
4 道州制の実現に向けた連携強化 【知事政策局】	———	本県を含む首都圏等に共通の課題の解決を図りながら、広域的な連携を強化した。 ・関東知事会への参画 2回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 NPO等との 協働の推進 【県民生活・男女参画課】	住みよい地域づくり推進費 (32,363) 31,596	<p>NPO等と協働し、多様な県民ニーズに対して、きめ細かく質の高い行政サービスを提供していくため、その担い手となるNPO等が自立し活動することが可能となるよう、人材育成、組織支援等の活動基盤の整備を支援した。</p> <p>これにより、協働を推進するための人材候補者が育成されるとともに、税理士、行政書士等の専門家の派遣などにより、組織基盤の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政とNPO等との協働を推進する人材の育成 協働推進コーディネーター養成講座の開催 1回 受講者数 36名 市町村における協働推進事業の実施 2市 参加者 52名 コーディネーターの派遣 6名 ・NPO等の組織基盤強化のための個別相談等の実施 専門家派遣 25団体、延べ 32回派遣 総合相談会の開催 1回 平成 25年 5月、参加 11団体 NPO法人設立支援講座の開催 2回 参加者 50名 認定・仮認定NPO法人取得支援講座の開催 1回 参加 4法人 資金獲得支援講座の開催 2回 参加 32団体 ・地域活性化協働事業費補助金による支援 9団体

